

NEWSLETTER

比較経済体制学会

No. 67 August 2022

Contents

- ・ 比較経済体制学会 2022 年度第 62 回全国大会を終えて
- ・ 比較経済体制学会 2023 年度第 63 回全国大会について
- ・ 比較経済体制学会 2023 年度若手会員旅費助成の募集について
- ・ 新入会員のご紹介
- ・ 事務局からのお知らせ (会員情報)
- ・ 学会機関誌編集委員会からのお知らせ
- ・ 比較経済体制学会第 62 回会員総会議事録
- ・ JCREES (日本ロシア・東欧研究連絡協議会) 関連の報告
- ・ 事務局だより

比較経済体制学会 2022 年度第 62 回全国大会を終えて

今年度の大会は、2022 年 6 月 11~12 日に、函館大学にて、対面形式と Zoom を用いた遠隔（オンライン）形式を同時併用する、ハイブリッド開催となりました。直近の 2 回がオンライン形式のみであり、また、初めて函館大学で大会を開催することもあって、函館市から補助金を獲得しつつ、非会員・一般市民にも一部公開することも考えました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症対策の観点等から、会員のみ参加可で、対面での参加者数を 50 人に限定し、懇親会等もしないこととなりました。大会への関心は高く、魅力的な論題を出していただいたことから、非会員からも参加申し込みがありました。お断りせざるを得ませんでした。37 名の会員が函館大学にお越しになりました。

第一日目では、馬欣欣会員（法政大学）プログラム委員長の下で、共通論題が「国家ガバナンスと企業行動：中国とロシア」に設定され、熊達雲氏（山梨学院大学）、安達祐子会員（上智大学）、三並康平会員（帝京大学）、志田仁完会員（西南学院大学）が報告されました。また、第二日目では、「脱炭素・脱ロシアのなかのロシア・ウクライナ経済」、「中国と東欧の比較企業システム論」、および「大国の地域経済の構造変化と中規模都市」という以上 3 つの分科会と、自由論題として 5 つの報告がありました。報告、討論、議論は活発に行われたと思います。

途中で配信が終了するなど、お見苦しい点が多々ありましたこと、お詫び申し上げます。

準備段階から当日の運営に至るまで、吉井昌彦代表幹事（神戸大学）、事務局の岡崎拓会員（羽衣国際大学）、大会組織委員の雲和広会員（一橋大学）、藤原克美会員（大阪大学）、日臺健雄会員（和光大学）にはすべての面でご尽力いただき、大会を終えることができました。また、馬会員をはじめとするプログラム委員の皆様には、函館大学の規模や機材の状況につきご配慮いただき、論題の設定のみなら

ず、すべての報告を一つの会場で行えるようプログラムを組んでいただきました。この場をお借りしまして関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

大会組織委員長
安木新一郎（函館大学）

比較経済体制学会 2023 年度第 63 回全国大会について

比較経済体制学会 2023 年度全国大会は、2023 年 6 月 3 日（土）、4 日（日）の二日間にわたって、神奈川大学（神奈川県横浜市）で開催される予定です。大会組織委員長は横川和穂会員が務められます。詳細は決まり次第、改めてお知らせします。

比較経済体制学会 2023 年度若手会員旅費助成の募集について

比較経済体制学会第 59 回全国大会会員総会で承認された「比較経済体制学会若手会員旅費助成規程」（ニューズレターNO. 62 の 8 頁に全文記載）に基づき、2023 年度若手会員旅費助成を募集しています。希望者は学会事務局に事前連絡の上、所定の申請用紙を 2023 年 3 月末までに提出してください。ただし、対象者が第 63 回全国大会（神奈川大学）でオンライン方式で報告を行った場合は、旅費助成は行いません。

（事務局）

新入会員のご紹介

李 亜蘭氏 一橋大学・院生（推薦者：岩崎一郎会員・馬欣欣会員）
ヌリラエフ・カラマツ・マラトビッチ氏 北海道大学・院生（推薦者：樋渡雅人会員・山田大地会員）
サイドリム・サヒポフ氏 北海道大学・院生（推薦者：樋渡雅人会員・山田大地会員）
王 義博氏 一橋大学・院生（推薦者：岩崎一郎会員・馬欣欣会員）
黒川 信雄氏 産経新聞社（推薦者：岡崎拓会員・藤原克美会員）
大内 悠氏 （一社）ロシア NIS 貿易会・ロシア NIS 経済研究所
（推薦者：服部倫卓会員・田畑伸一郎会員）
佐々木 正清氏 二松学舎大学・院生（推薦者：岡崎拓会員・藤原克美会員）
前田 俊尚氏 東京大学・院生（推薦者：石川晃弘会員・岡崎拓会員）
後藤 康浩氏 亜細亜大学（推薦者：志田仁完会員・穆堯芋会員）

（事務局）

事務局からのお知らせ（会員情報）

本年度は、会員名簿作成の年です。
すでにメーリングリストでご連絡しておりますが、会員情報の確認・修正にご協力いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

（事務局）

学会機関誌編集委員会からのお知らせ

学会機関誌『比較経済研究』（英語名称：Japanese Journal of Comparative Economics）は、レフェリー制投稿誌として、年2回発行しています。

学会幹事会の委嘱により、第60巻及び第61巻は、武田友加編集委員長（九州大学）、樋渡雅人副編集委員長（北海道大学）、小林拓磨編集委員（松山大学）、鈴木拓編集委員（帝京大学）、藤井大輔編集委員（大阪経済大学）、柳学洙編集委員（北九州市立大学）の6名が、編集を担当しております。どうぞよろしくお願い致します。

学会機関誌『比較経済研究』第59巻2号が先日刊行されました。内容は、以下の通りです。

論文

柴田徳太郎「コロナ不況とドル流動性危機」

樋渡雅人「グローバリゼーションとポピュリズム」

岩崎一郎、馬欣欣、溝端佐登史「新興市場企業取締役会の世代多様性」

書評

浅川あや子『体制転換における国家と市場の相克—ロシア、中国、中欧』（池本修一編著）

Abstracts

学会機関誌投稿・執筆要綱

ご寄稿いただいた先生方には、ご尽力賜りましたことに心より御礼申し上げます。

当機関誌では、投稿原稿（論文（400字×55枚以内）、研究ノート（400字×45枚以内）、書評（400字×17枚以内））を随時募集中です。掲載ご希望の会員は、編集委員会アドレス（jaces.edit@gmail.com）まで、原稿をご提出下さい。60巻1号（2023年1月刊行予定）の投稿〆切は2022年8月末、60巻2号（2023年6月刊行予定）の投稿〆切は2023年2月末を予定しております。なお、機関誌の企画及び査読の都合上、上記締め切り直近の刊行号に掲載されない場合があります。あらかじめご了承ください。

当学会に連続2年度以上在籍している若手研究者（院生会員及び年齢40歳以下の正会員）が単独執筆した機関誌掲載論文は、原則として、その全てが自動的に「研究奨励賞」の候補対象となります。応募資格を持つ会員の皆様は、特に奮ってご投稿ください。

『比較経済研究』は、独立行政法人科学技術振興機構が運営する科学技術情報発信・流通総合システム（J-STAGE）の登録雑誌です。最新号を含む全てのバックナンバーが閲覧可能です。どうぞ御活用ください。電子版トップページのアドレスは、以下の通りです。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjce/-char/ja/>

最後に、当機関誌に掲載される書評の対象となる候補著書の情報提供にもご協力いただきますようお願い致します。特に、会員の皆様が新著（書籍）を公刊される際には、候補著書として検討させていただきますので、上記編集委員会アドレスまでご一報いただけますようお願い致します。

（学会機関誌編集委員会）

比較経済体制学会第62回会員総会議事録

[1] 審議事項

1. 2021年度決算について

下記決算書に基づき、事務局より決算報告および発議が行われた。会計監査担当の岩崎一郎会員、齊藤久美子会員より、決算に問題がないことが報告された。齊藤会員より、新型コロナウイルス禍を含めた予期せぬ事態への対応のため、今後も財政的に余裕のある学会運営を行うよう付言があった。本項は総会において、承認された。

2021年度比較経済体制学会決算書(2021年4月1日-2022年3月31日)

	2021年度予算(a)	(内訳)	2021年度決算(b)	(内訳)	差額(b-a)
収入の部					
前年度繰越金	2,709,293		2,709,293		0
会費 ⁽¹⁾	1,510,200		1,689,000		178,800
雑収入	0		12		12
合計	4,219,493		4,398,305		178,812
支出の部					
全国大会開催費補助 ⁽²⁾	300,000		300,000		0
大会組織委員会・プログラム委員会経費	120,000		0		▲ 120,000
委員旅費		50,000		0	
大会招待講演者旅費		0		0	
その他 ⁽³⁾		70,000		0	
機関誌印刷費	600,000		488,850		▲ 111,150
機関誌編集委員会経費	155,000		102,425		▲ 52,575
査読謝礼		0		0	
英文校閲料		5,000		4,400	
人件費		80,000		40,000	
電子版アップロード作業委託料		70,000		58,025	
その他		0		0	
奨励賞 ⁽⁴⁾	0		0		0
会員名簿印刷費 ⁽⁵⁾	0		0		0
幹事会経費	20,000		0		▲ 20,000
事務局経費	200,000		225,496		25,496
印刷費		40,000		51,880	
機関誌発送費		100,000		73,950	
その他送料		40,000		16,030	
消耗品(文房具等)		5,000		30,034	
送金手数料		5,000		5,060	
人件費		0		0	
Webサイト維持費		10,000		9,012	
その他(交通費等) ⁽⁶⁾		0		39,530	
事務委託費(学会支援機構)	250,000		135,281		▲ 114,719
年度事務委託料 ⁽⁷⁾		200,000		100,000	
年度事務委託料に含まれない料金・手数料		50,000		35,281	
経済学会連合分担金	30,000		30,000		0
JCREES分担金	30,000		30,000		0
予備費	50,000		0		▲ 50,000
小計	1,755,000		1,312,052		▲ 442,948
次年度繰越金	2,464,493		3,086,253		621,760
合計	4,219,493		4,398,305		178,812

- (1) 会費収入は2022年3月31日までの入金額
- (2) 2022年度研究大会(函館大学)の開催方法決定段階で支給(2022年4月)
- (3) 事務局大会参加旅費は事務局経費として支出
- (4) 次回の賞与は2022年度を予定
- (5) 次回の作成は2022年度を予定
- (6) 全国大会オンライン開催にともなうサポートとして参加につき、旅費支出
- (7) 2021年度事務委託費残金あり。2022年度に請求される予定である。

作成日 2022年5月3日
 作成者 岡崎 拓



上記の決算書に相違ないことを認めます。

2022年 5月18日
 2022年 5月14日

会計監査
 会計監査

齊藤久美子
 岩崎一郎



2. 2021 年度予算について

下記予算書に基づき、事務局より予算の発議がなされ、承認された。

- ・ JCREES サマースクール講師派遣を新設したほか、2021 年度事務委託費残金支払い、zoom 契約などに伴い事務委託費、事務局経費を前年度より増額した。
- ・ その他の経費は、過年度の実績を参考に編成した。

2022年度比較経済体制学会予算書(2022年4月1日-2023年3月31日)

	2021年度予算	(内訳)	2021年度決算	(内訳)	2022年度予算	(内訳)
収入の部						
前年度繰越金	2,709,293		2,709,293		3,086,253	
会費 ⁽¹⁾	1,510,200		1,689,000		1,494,000	
雑収入	0		12		0	
合計	4,219,493		4,398,305		4,580,253	
支出の部						
次年度全国大会開催費補助 ⁽²⁾	300,000		300,000		300,000	
大会組織委員会・プログラム委員会経費	120,000		0		70,000	
委員旅費		50,000		0		0
大会招待講演者謝金・旅費 ⁽³⁾		0		0		70,000
その他		70,000		0		0
機関誌印刷費	600,000		488,850		600,000	
機関誌編集委員会経費	155,000		102,425		155,000	
査読謝礼		0		0		0
英文校閲料		5,000		4,400		5,000
人件費 ⁽⁴⁾		80,000		40,000		80,000
電子版アップロード作業委託料		70,000		58,025		70,000
その他		0		0		0
奨励費 ⁽⁵⁾	0		0		0	
会員名簿印刷費 ⁽⁶⁾	0		0		240,000	
幹事会経費	20,000		0		20,000	
事務局経費	200,000		225,496		240,000	
印刷費		40,000		51,880		60,000
機関誌発送費		100,000		73,950		100,000
その他送料		40,000		16,030		20,000
消耗品(文房具等)		5,000		30,034		20,000
送金手数料		5,000		5,060		5,000
人件費		0		0		0
Webサイト維持費		10,000		9,012		10,000
その他(交通費、zoom契約費等) ⁽⁷⁾		0		39,530		25,000
事務委託費(学会支援機構)	250,000		135,281		350,000	
年度事務委託料 ⁽⁸⁾		200,000		100,000		300,000
年度事務委託料に含まれない料金・手数料		50,000		35,281		50,000
経済学会連合分担金	30,000		30,000		30,000	
JCREES分担金	30,000		30,000		30,000	
JCREESサマースクール講師料 ⁽⁹⁾					50,000	
予備費 ⁽¹⁰⁾	50,000		0		50,000	
小計	1,755,000		1,312,052		2,135,000	
次年度繰越金	2,464,493		3,086,253		2,445,253	
合計	4,219,493		4,398,305		4,580,253	

(1) (10,000円×146人+4,000円×50人)×0.9(2022年5月23日現在の会員数)

(2) 2023年度全国大会補助分30万円

(3) 2022年度より「大会招待講演者謝金・旅費」に細目変更(以前は「大会招待講演者謝金」)

(4) 4万円×2号×1名

(5) 第10回研究奨励賞(2019-20年度)は該当者なしのため支出なし。次回の賞与は2024年度を予定

(6) 次回の発行は2024年度を予定

(7) zoom契約予定(月額2000円)

(8) 2021年度事務委託費残金請求額(64,450円)を含む。

(9) 2022年度に細目新設。講師派遣に伴う交通費・宿泊費。

(10) 緊急対応用

作成日 2022年5月29日
作成者 岡崎 拓

[2] 報告事項

1. 新規入会者・退会者について
2. 研究奨励賞について
3. 2022 年度若手会員旅費助成について
4. 機関誌発行・編集状況について
5. 2023 年度全国大会について
6. 2023 年度若手会員旅費助成について
7. 日本ユーラシア協会による当学会全国大会報告要旨無断掲載について
8. ウクライナ情勢に対する声明について
9. 会員情報の確認・変更について
10. JCREES 幹事会について
11. 日本経済学会連合について

[3] 幹事会報告

[4] 会務報告

JCREES（日本ロシア・東欧研究連絡協議会）関連の報告

1. ウクライナ情勢に関する声明

ロシアによるウクライナ侵攻に対し、幹事会声明「JCREES 幹事会は、ロシアによるウクライナ侵攻は武力による現状変更を図るものであり、受け入れがたいと考えます。私たちは、平和を望むウクライナとロシアの全ての市民を支持します。」を 3 月 3 日に発出しました。なお、本学会は、幹事会で議論の結果、ロシア・東欧地域研究学会ではないことから、独自の声明は出さないことといたしました。

2. 幹事会改革

JCREES 幹事会のジェンダーバランスを図るため、参加学会は幹事会に幹事 2 名を出すことができ、2 名を出す場合には少なくとも女性 1 名を含むこととし、幹事 2 名の場合には各幹事 1 票、幹事 1 名の場合は 2 票の投票権を行使することとなりました。なお本学会は、現体制では幹事 1 名のみといたしました。

3. サマースクールの開催

スラブ・ユーラシア地域の研究を志す学生を増やし、学生による同地域の学際的な研究を支援・奨励することを目的として、ICCEES 基金等を利用し、8 月 25・26 日にサマースクール（JCREES、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター共催）が開催されました。

事務局だより

本学会事務局の担当をはじめて 1 年が過ぎました。全国大会もハイブリッドで開催することで、COVID-19 の影響が続く中でも、皆様のご協力の下で新たな試みを実施していくことができております。皆様のご意見ご要望を出来るだけ取り入れられるよう努めつつ、引き続き会の運営を行ってまいります。
(事務局 岡崎拓・藤原克美)

**ニュースレターNO. 67 発行
2022年8月31日**

比較経済体制学会事務局

会務・会計担当：

592-8344 大阪府堺市西区浜寺南町 1-89-1
羽衣国際大学現代社会学部 岡崎拓

メンバーシップ・WEB サイト担当：

562-867 箕面市船場東三丁目 5 番 10 号
大阪大学言語文化研究科 藤原克美

事務局メールアドレス：

adm@jacesecon.sakura.ne.jp